学校番号	１２０１

令和８年度　情報科

教科	専 情報	科目	(学) プログラミング実践	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

プログラミング入門でこれまでに学んだ知識・技術をベースに、より実践的なプログラミング開発を行い、更なる知識・技術の習得を目指す。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
プログラミング言語の基本的な知識・技術を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
習得したプログラミング言語を実際のプログラムコードとして表現できる。
【学びに向かう力、人間性等】
自主的に新しい技術を学び、自己改善し、チームで協力して問題解決に取り組む姿勢を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・問題解決するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法について理解している ・課題を解決する為の適切で正確な技術を身につけている。	・問題解決に向けて適切かつ効果的な判断を行っている。 ・順序立てて論理的に思考している。	・主体的にプログラミング学習に取り組み、知識・技術を身につけようとしている ・授業で学んだ知識・技術を積極的に活用し更に改善しようとしている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	変数	変数を用いたプログラム	a:変数を用いたプログラミングが行える。 a:変数について理解している。 b:変数の使いかたについて適切に判断できる。 c:プログラミングに興味を持ち、積極的に取り組もうとしている。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ基本課題 提出データ (技術判断)	応用課題 提出データ (応用性判断)	実習観察 授業態度 質疑応答
2学期	配列	配列を用いたプログラミング	a:配列を用いたプログラミングが行える。 a:配列について理解している。 b:配列の使いかたについて適切に判断できる。 c:配列の有意性に興味を持ち、積極的に取り組もうとしている。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ基本課題 提出データ (技術判断)	応用課題 提出データ (応用性判断)	実習観察(個別指導含む) 授業態度 質疑応答
3学期	クラス	クラスとインスタンスを用いたプログラミング	a:クラスを用いたプログラミングが行える。 a:クラスについて理解している。 b:クラスの使いかたについて適切に判断できる。 c:プログラミングの構造に興味を持ち、積極的に取り組もうとしている。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ基本課題 提出データ (技術判断)	応用課題 提出データ (応用性判断)	実習観察(個別指導含む) 授業態度 質疑応答

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度